

特集

出張!! なんでも意見交換会

湯沢市観光物産協会・会員  
(ふるさと納税関係者)



総務財政常任委員会

【令和6年6月4日実施】

「議員と語り合おう 出張!! なんでも意見交換会」  
今回は、湯沢市観光物産協会・会員から7名の  
皆さんと、

「ふるさと納税」

について意見交換を行いました。



意見交換の前に、ふるさと納税に関する  
所管事務調査を実施した上で、臨みました。



2つのグループに分かれて話し合いました。

ふるさと納税に関わる方々と

日々感じられている事、思う事について伺いました。

◎意見交換会開催の経緯について

市で受け入れたふるさと納税は、本市の事業などへ充当される貴重な財源となっている。

より多くのふるさと納税を受入れることができ、産業や観光の振興、住民のための事業を行うことが可能となり、地域の活性化につながる。

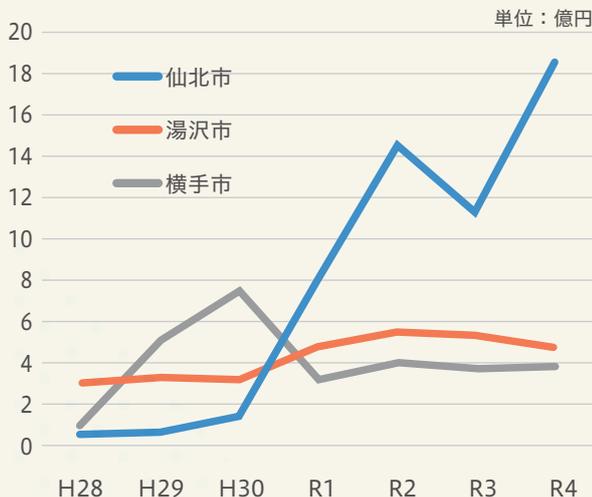
近年、本市のふるさと納税受入額は、4〜5億円代で推移しており、返礼品の見直しなど関係する課題の解消等を適宜行い、受入額の維持ができていますと考察される。

一方で、日本全体のふるさと納税の規模は年々

拡大し、自治体間での受入額の格差も広がっている。令和4年度のデータからは、宮崎県都市市の195億円超を筆頭に、秋田県内では仙北市が18億円を超えているのが現状だ。(下図参照)

こうした中、本市においても、このふるさと納税受入額が増加するために何が必要かについて、返礼品を出している会員が多く所属し、湯沢市からふるさと納税の特産品発送業務を請負い、御尽力いただいている湯沢市観光物産協会及びその会員の方とそれぞれの立場から御意見をお伺いする意見交換会の場を設けた。

ふるさと納税受入額推移



※総務省(関連資料)ふるさと納税に関する現況調査より